

# きんもくせい

病院だより

vol.92

令和3年  
1月号



## 新年のご挨拶

新年明けまして、おめでとうございます。

皆さまにおかれましては、健やかに初春をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、日頃から当院の運営に対し多大なるご理解とご協力を賜り、心からお礼申し上げます。

さて、去年は新型コロナウイルス感染症拡大による激動の1年でした。

当院は新型コロナウイルスが話題になりはじめた2020年2月から、DMAT(災害派遣医療チーム)をクルーズ船へ派遣し、感染患者の受け入れを開始しました。このことは未知のウイルスに対する治療と院内感染に対する恐怖との闘いの始まりでもありました。現在では、当初に比べ治療法や感染対策もある程度確立されてまいりましたが、今もなお患者増による病床ひっばくやスタッフの疲弊、病院の経営悪化など厳しい状況が続いています。そのような中で地域の皆さまをはじめ多くの方の温かいご支援やご声援が我々の何よりの励みとなり、勇気と力を与えてくれています。この場をお借りしてお礼申し上げますとともに、本年も決意を持って地域医療を守っていく覚悟です。

本年も当院の運営目標は、「地域医療への貢献」、「誇りと働きがいを持てる病院の創造」、「日本トップクラスの臨床研修病院」を掲げています。中でも「教育」については、特別な思い入れを持っています。静岡県のような医師不足の地域においては、「教育」が将来につながる重要な分野であると考えているからです。優秀な医療人を育てることは、大学や地域とのより強い連携を生み、当院の発展と地域医療の貢献につながることを信じています。医師臨床研修マッチングにおいては、3年連続で定員を大幅に超える希望者があり、定員枠の14名を採用内定とすることができました。引き続き、医学生及び研修医に対し熱意ある教育や指導を実践し、日本トップクラスの臨床研修病院を目指してまいります。

当院は、中東遠圏域はもちろんのこと静岡県の医療を支えるという使命感を持ち、職員が一丸となって全力を尽くしてまいります。

この新しい年が皆さまにとって良き年となりますよう心より祈念いたしまして、年頭の挨拶とさせていただきます。

企業長・院長 宮地 正彦

# 怖いのはコロナウイルス感染症だけではない!! ～その迷いや判断が生死を分ける、急性心筋梗塞～



循環器内科 統括診療部長

もりかわ しゅうじ  
森川 修司 医師

## 心筋梗塞とは

心筋梗塞は心臓に栄養を運ぶ血管が血栓により詰まって血液が流れない状態になり、心臓の筋肉が壊死する病気です。発症すると激しい胸の痛みや冷汗を感じるのが特徴で、深刻な場合は死に至ることも少なくありません。厚生労働省のまとめによりますと、心疾患は現在悪性新生物（がん）に次ぐ死亡原因の2位を占め、国内では昨年、3万人以上の患者さんが心筋梗塞で亡くなっています。突然発症することも多く、自分で気付かなければ外見等では診断が付きません。しかし病院を受診し心電図をとることで直ぐに診断が付き、早期にカテーテル治療を行うことにより、救命することができます。

## コロナウイルス感染症の拡大に伴い・・・

新型コロナウイルス感染症が拡大して以降、心筋梗塞などで医療機関を受診する患者さんが減っていることが、学会の調査などで分かりました。当院でも新型コロナウイルス感染症が拡大する前年と比較し、心筋梗塞で受診する患者さんが約20%減少しています。海外でも同じ傾向が見られ、イギリスやアメリカでは前年の同じ時期より30～40%減少し、ニューヨークでは病院に受診せず自宅で亡くなる人が4倍に増加したと報告されています。コロナウイルスにより血栓を生じやすくなり心筋梗塞の患者さんが増加することも考えられましたが、減少しているのはなぜでしょうか？これはコロナウイルス感染症が怖くて病院への受診を控えているのでは、と考えられています。

## 心筋梗塞の治療

急性心筋梗塞に対しての治療は、手首や肘、足の付け根の動脈から局所麻酔でカテーテル治療を行い、詰まった心臓の血管を再び流れるようにすることです。発症から治療までの時間が短いほど救命率は上がり、1分1秒が生死を分けます。心筋梗塞が疑われる症状を自覚した場合には、直ぐに救急車を呼んで病院に来てほしいと思います。

## コロナは怖い、でも・・・、心筋梗塞はもっと怖い 1分1秒をあらそう治療はどこで受けるべき??

当院では24時間365日、院内にカテーテル治療を行える循環器医が常時いる体制をとっています。またカテーテル治療専門医のもと、迅速かつ正確な治療を行っています。これにより患者さんが搬送されてから治療するまでの時間を最大限短縮し、救命率を上げることができます。さらに皆さんもご存じのように、当院では院長の陣頭指揮のもと、いち早く厳格に新型コロナウイルス感染症対策を徹底しているので安心して受診してほしいと思います。また、ヨーロッパ心臓病学会からも、急性心筋梗塞に対するカテーテル治療は循環器内科が24時間体制の施設でかつ、新型コロナウイルス感染症に対応可能な施設で治療を行うべきである、と提言されています。心筋梗塞等心臓疾患が疑われる症状が自覚された場合には、当院循環器内科に受診していただければ救命はもちろん、長期予後まで見据え、患者さんがその後も健康に生活できるように考えた診療をさせていただきます。

## 磐周・小笠地域では当院循環器内科でのみ・・・

磐周・小笠地域では24時間365日、院内にカテーテル治療が行える医師が常駐する診療体制を



とっている病院は当院のみです。心筋梗塞や狭心症に対するカテーテル治療の専門医も常勤しておりますので安心して受診していただけます。その他、通常のカテーテル治療では困難な心臓血管の硬い動脈硬化、いわゆる石灰化病変に対する治療は、先端にダイヤモンドが埋め込まれたロータブレードという道具を使用し高度な石灰化を削るという難易度の高い手技が必要となりますが、この手技もこの地域では当院でのみ施行可能です。また現在急激に増えている、心房細動等の不整脈に対する根治手術、カテーテルアブレーションも当院でのみ施行可能となっております。

## 最後に

心筋梗塞に対する治療は大切ですが、それ以上に心筋梗塞にならない予防が大切です。心筋梗塞の主な原因は動脈硬化の進行です。動脈硬化の主なリスクとしては高血圧、糖尿病、高脂血症などの生活習慣病の他、喫煙があります。食生活に気をつけ、ウォーキング等の運動を心がけ、禁煙することが大切です。また毎年当院等で健康診断を受け、上記のような生活習慣病がないことを確認することも重要です。

これから寒い時期となります。心筋梗塞を含め循環器疾患は気温の低い冬に多く発症することが分かっています。当院循環器内科は地域住民の皆さまが健康に生活できるよう、開業医の諸先生方と密に連携をとり、24時間365日どんな患者さんも断らず診療させていただくチーム医療としての体制をとっていますので、迷った場合にはいつでも受診をするようお願いいたします。

## 看護部通信 .....

### 患者さまとの会話や笑顔から、元気もらっています。

8階東病棟は腎臓内科、糖尿病・内分泌内科、血液・腫瘍内科の混合病棟です。

腎臓内科では、腎機能が低下し透析導入される患者さま、糖尿病・内分泌内科では血糖コントロール、糖尿病の教育目的で入院される患者さまがいます。

血液透析とは腎臓の働きの一部を人工的に補う治療方法のことで、血液透析を導入すると、週に3回、3～4時間の通院が必要となり生涯の付き合いとなります。安全な透析を行うために、シャントといわれる血液透析を実施する際に必要な動脈と静脈を直接つなぎ合わせた血管の管理や食事療法等のセルフケアが必要となります。糖尿病患者さまも血糖をコントロールするために食事・運動・薬物療法が必要となります。また、慢性疾患と共に生きる患者さまへ疾患や治療方法についてパンフレットを用いて指導を行っています。症状をコントロールしながら日常生活が送れるよう、退院後の生活を見据えて個別性に沿った看護を提供しています。高齢の患者さまも多く、認知機能が低下している患者さまには簡潔にわかりやすく指導を行い、ご家族にも指導を行っています。

血液・腫瘍内科では、悪性腫瘍に対して化学療法で抗がん剤の投与を行います。治療の副作用から感染しやすい状態となるため、副作用の説明を行い患者さまご自身で感染予防行動がとれるよう日々関わりをもっています。



患者さまとの何気ない会話で笑顔がみられる瞬間があります。入院や治療により不安を抱えている患者さまやご家族は多いと思います。そうした気持ちが、少しでも明るくなる瞬間が入院生活の中にあつたらいいなと思いながら、日々患者さまの気持ちに寄り添えるように努めています。

8階東病棟 上田 麻友美

## 2月から眼科受診には紹介状が必要です

2月1日（月）から、眼科への受診は紹介状が必要になります。皆さまのご協力をお願いします。  
受診の際には必ず事前に予約を取るよう併せてお願いします。

## 人間ドック等オプション検査「胃内視鏡検査」年齢制限を設けます

当センターの検査体制により、令和3年度の「胃内視鏡検査」について、受診対象者の年齢制限を設けます。  
申込みについては次のとおりです。

- ◆年齢制限 40歳以上（昭和56年以前に生まれた方）で人間ドック等を受診する方
- ◆対象期間 令和3年度（令和3年4月1日（木）～令和4年3月31日（木）） ◆予約受付 令和3年1月20日（水）から  
ただし、申込みについては、所属の健康保険組合、事業所、団体が定める期日や申込方法に従ってください。  
胃内視鏡検査のみの申込みや仮予約は受け付けしていません。

問合せ 人間ドック・健診センター 電話：0537-28-8028

## 第33回医療市民講座のご案内

皆さまの安全を第一に考え、感染防止対策を講じたうえで細心の注意を払い開催いたします。

定員100名（予約制・先着順）

入場料無料

- ◆日 時 令和3年2月27日（土）午前10時～正午（受付9時30分～）
  - ◆場 所 袋井市教育会館 4階大会議室（袋井市新屋1-2-1）
  - ◆演 題 ①「正しく知ろう皮膚がん」  
講師：大塚 正樹 医師（皮膚科診療部長）  
②「脳卒中と脳神経外科～脳卒中はFASTとTime is brain～」  
講師：市橋 鋭一 医師（副院長 兼 脳神経外科統括診療部長）
  - ◆申込み 2月22日（月）までにホームページ専用フォーム、または  
問合せ先へ電話、FAXのいずれかにて。  
申込用紙を院内専用BOXにお入れいただいても申し込みできます。  
申込用紙は院内ほか、市役所等で配布しています。
  - ◆問合せ 経営戦略室 電話：0537-21-5555(代) FAX:0537-28-8971(代)
- ※最新情報や申込方法など、詳しくは病院ホームページをご確認ください。



詳しくは  
病院ホームページを  
ご確認ください。

## ● 医師異動のお知らせ ●

11月30日付 退職

産婦人科 よしおか かずき  
吉岡 和樹



今までありがとうございました

## 11月の 診療実績

| 1日あたりの患者数    |        |        |
|--------------|--------|--------|
|              | 入 院    | 338人   |
|              | 外 来    | 1,159人 |
| 紹 介 率        | 83.0%  |        |
| 逆 紹 介 率      | 102.3% |        |
| 病 床 利 用 率    | 67.6%  |        |
| 平 均 在 院 日 数  | 8.7日   |        |
| 手 術 件 数      | 414件   |        |
| 救命救急センター受診者数 | 1,044人 |        |
| 救 急 搬 送 件 数  | 362件   |        |

病院だより「きんもくせい」は、中東遠総合医療センター、掛川・袋井両市役所及び一部の市内公共施設にて無料で配布しております。

ホームページ <https://www.chutoen-hp.shizuoka.jp/>

過去の病院だよりをホームページでご覧いただけます。

スマートフォン・タブレットからアクセスする際にはQRコードをご利用ください



〒436-8555  
掛川市菖蒲ヶ池1番地の1

TEL 0537-21-5555

